

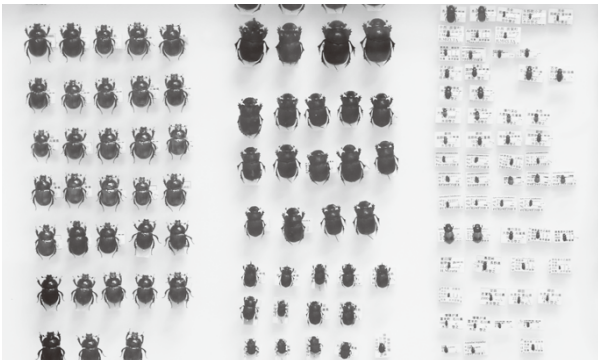
コレクション紹介  
水田啓之氏甲虫類コレクション  
平井克男



充実したカミキリムシ科の標本



シロヘリハンミョウ



糞虫類の標本



水田啓之氏甲虫類コレクション

水田啓之氏甲虫類コレクションは、ふじのくに地球環境史ミュージアム整備課大谷分室に移転する前の2012年に、清水区辻にあった静岡県自然学習資料センターに、静岡市在住の水田啓之氏が、自ら数回にわたり標本を持参され、寄贈いただいたものです。このコレクションは数多い甲虫類の標本ですが、どんなに小さな標本でも、一つ一つ丁寧に標本が作製されており、大変すばらしいものです。このコレクションは、1980年代から2014年代にかけて採集されたものを主体とし、その採集地は北の北海道から南の沖縄にかけての日本各地に及びます。

筆者がこのコレクションを整理したところ、甲虫類67科1446種、総数が約2800頭もありました。その内訳は、カミキリムシ科が最も多く374種で、ゾウムシ科142種、コガネムシ科130種、ハムシ科113種、オサムシ科96種、コメツキムシ科68種、ゴミムシダマシ科63種、ナガクチキムシ科41種、タマムシ科39種、オトシブミ科37種などとなっています。

標本が充実しているカミキリムシ科の標本では、南西諸島の奄美大島、与那国島産の貴重な種のアマミホソコバナカミキリ、ヨナグニキボシカミキリなどが含まれています。

またコガネムシ科では、エンマコガネ、マグソコガネの仲間やオオセンチコガネなどの糞虫類が多く、ハムシ科では、特にネクイハムシ類が多く、貴重な種のカツラネクイハムシやキンイロネクイハムシも含まれています。

静岡県産のものでは、県東部から2013年7月に採集したハンミョウ科のシロヘリハンミョウがあり、おそらくこの標本が本県内の初記録と思われます。

このように、このコレクションは甲虫類の多くの種を網羅し、日本各地の貴重な種が含まれています。この標本は現在、地球環境史ミュージアムの収蔵室内でドイツ箱16箱に収められ、博物館の標本登録作業を行っています。この標本を多くの人たちに研究や学習資料として活用してもらえるよう、作業を進めていきたいと思っております。